

2月の果実の見通し

令和4年1月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	青森	7009	80%	6511	274	安い	297	89	1.3%	主力青森産「サンふじ」は、全体的に小玉傾向や凍霜害もあり、平年よりも少ない。40玉中心の出回り、スレ・キズ果等もあり正品率も高くはない。品種ごとにみても、昨年を上回る数量のあるものはない。本年度は味に関しては食味よく仕上がっている。ただし、凍霜害による被害が全国的であったため、数量減の単価高の推移が継続していく。
いちご類	栃木 福岡 静岡 佐賀 ほか	4630	95%	4572	1411	高い	1390	-	-	2月上旬は栃木産がピーク。九州管内の上旬は端境期であるが10日頃を目安に出揃ってくる様子。気温が低温続きなので大玉傾向になり九州管内は平PK中心の予想。九州管内の2番果と3番果の端境期は緩やかなものとなり、順調に3月は増加してくる見込み。年内含め、気象による作柄のばらつきが多く出荷数量の伸び悩みがあったが、3月は全国的に順調な出荷となり、相対的に数量が多くなる見込み。
キウイ	福岡 和歌山 愛媛	760	90%	832	506	高い	499	3	0.4%	輸入キウイは1月であらかた販売は終了しているため、2月は「ハイワード」中心である。大きさは例年よりもよく、27>30玉中心見込み。出荷量は例年より若干少ない。
みかん類	静岡 長崎 熊本 ほか	8689	90%	8164	313	高い	327	-	-	2月は静岡産「青島みかん」中心に「寿太郎」の販売が始まる。本年は生育順調で、品質内容は近年に比べ高いが、数量は裏年傾向で少なく、20日あたりから減少する。下旬からは高品質貯蔵タイプの出荷が始まるが、こちらは平年よりも多い見込み。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)